

2004年度 第4回 運営委員会議事録

日時：2004年11月6日(土) 9:30～12:00

場所：バーズ教育センター 第1会議室(104教室)

出席者：大谷運営委員長、松本副運営委員長、齋藤総務担当運営委員、糟谷副総務担当運営委員、大内会計担当運営委員、矢橋校長、館野運営委員、辨木運営委員、吉田運営委員、宇多田運営委員、田村領事館担当運営委員、鶴岡会計監査委員、小松商工会教育部長、中山30周年担当運営委員、村野事務担当運営委員

1. 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 齋藤総務担当運営委員
2. 運営委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 大谷運営委員長
3. 報告・確認事項・協議事項
A) 学校の状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 矢橋校長

在籍者数の報告

11月6日現在387名の在籍数で年度当初の人数と比較すると18名の減になっている。特に小学部の人数が減少。

主任会の報告

1. 第6回(9月25日)

子ども達の様子で良かった点 ユニセフ募金を行う

改善したい点 アリへの注意喚起とメディアセンターのドアの開閉について

オープンハウスの準備状況について報告

30周年記念行事(寄せ書きと記念講演についての内容と方法、日程を了承)

高等部語彙力についてテストの実施について了承

2. 第7回(10月9日)

オープンハウスのスケジュールの確認

30周年記念公開授業・研究協議会について

ブックフェアの時間帯について

学年の組み合わせの見直しと、購入時間の延長。子どもが購入する時間の混雑を避けるため、保護者の購入時間帯を午後とする

3. 行事関係について(教員関係)

オープンハウスについて

<良かった点>

保護者参観と同時開催で出席者の人数が多く活気があった。

現地校の先生と日本語学校で顔合わせが出来、子どもが喜んでた。

展示場所が良かった。作品を二度展示されて子どもが喜んでた。着物の展示が良かった。

食事監督の中・高生が遊んでくれたり、教室まで迎えに来てくれたりし大変良かった。

<改善したい点>

教師がゲストと一緒に食事をするには、授業との関係上時間的に無理がある。

教師は事前に生徒と一緒に食事を終えてから、ゲストとデザートと一緒にしては。

現地校の先生と話をしようと思ったが、席がなく出来なかった。

学年別の席を決めたらどうか。

先生と現地校の先生との話は、授業参観直後に時間を設定してはどうか。

4. 30周年記念行事について

創立30周年記念式典についてのご協力の依頼

開催要項(案)を配付

実施日：12月18日 2学期終業式を兼ねる

来賓の総領事、商工会会長にご案内の手紙を送付。30周年記念事業報告、30年間を振り返っての写真紹介等を担当委員に依頼

開催時間帯：14:10～14:50

保護者には「はなみずき」で紹介

30周年記念講演#2をワシントン大使館阿川公使の講演が本日開催。運営委員も是非参加ください。

演題：「アメリカに渡った少女、津田梅子」「アメリカに渡った少年、ジョン万次郎」

30周年特別講演について

宇宙飛行士 若田浩一氏を迎え、30周年記念特別講演を2月に予定することが出来た。講演の様子を記念誌に掲載するため、当初発行を12月と決めていたが3月に配付を延期し、その間に行われる式典、公開授業も掲載する。

創立30周年記念 授業公開・研究会について

日時：11月20日 12時40分～16時30分

場所：本校第一体育館

講師：ヒューストン補習授業校校長、イーストテネシー補習授業校校長、

ローリー補習授業校校長、ニューヨーク国際交流デレクターの各四氏

三部会に分かれ分科会/研究会を行う。指導の先生には学習指導案を提出いただき、授業、研究会用の冊子は作成配付済み。

5. 平成17年度 教育活動年間計画(案)について

始業式を4月9日に設定(日本からの転入生の時期を考えると4月2日では早すぎる)

運動会 5月14日(昨年度と比べ準備期間の時間的な余裕が生じた)

9月3日～10月1日間を集中授業期間とする(先生方には本年度特に問題がなかった。)

10月22日 オープンハウスと授業参観を本年度同様に合同開催

3月18日 卒園卒業式・修了式(3月25日では遅く、次年度への準備期間がない。)

新年度進級用児童生徒調査票と17年度教育計画(案)を児童生徒に配付。

B) ジャパンフェストの報告&来年度の方針確認・・・・・・・・小松商工会教育部長

収支報告 売上：\$5939.61

経費：\$2113.39(全額日本からの品物の航空貨物運賃。備品

利益：3836.41 是学校事務局の物を使用)

利益は、前年度を大きく上回り、大成功であった。理由は物量が多かったのと、定価を高めを設定し、値引きを2時以降まで引き伸ばした。

日本から郵送されてくる日本ジョージア協会の発送品の収支について

売上げが経費(全額航空貨物運賃で航空と船舶でも差がないとのこと)を上回らず

マイナスになってしまった。郵送された物が米国内では入手困難な品物(着物、帯、

浴衣、茶器類多数など)でお客様から喜ばれる物品が多かっただけに残念
来年度以降は日本ジョージア協会の発送品は廃止の方向で引き継ぐ。再度チャレン
ジするのであれば、下記の点に考慮し依頼する。

ジョージア協会には「日本的なもの」に限定し依頼

点数の内容を重視し、かつ箱にまとめてもらい、箱の数を少なくす

重量のあるものは避ける(書籍・ビデオなど)

日本ジョージア協会の発送品を廃止した場合の、出品数減少は出品募集の時期
の前倒し等により、補う。

ボランティアの動員数に関して

80人前後のボランティアで、必要人数を確保できた。今年も中学生・高校生の
パワーに助けられた。

入園バス、駐車場バスの配付は今後も必要。商工会や幹事企業からの寄付でまかなっ
た。ボランティアをスタッフとして事前登録したが、大きなトラブルは報告されてい
ない。値付け、販売員、搬入、後片付けなどの適正人数の見直しが必要。

その他反省と今後への引継ぎ事項

- ・組織運営/準備 マニュアルを継続的に見直す。値付けの個人差をどのように解消
するか。
- ・当日運営 ボランティアの集合時間、時間配分、交代、職務の説明、出欠の確認の
実施。つり銭、袋の確保を充分に手配する。
販売開始前の混乱を避ける方法としてシートをかぶせる。
カテゴリー別のテーブルで販売、値段表の掲示。
- ・バザーはジャパンフェスト入場者にも大変好評なので、来年度も引き続き行う。
- ・品物の調達方法を考える。

ご協力いただいた運営委員各位、学校関係、およびボランティアに参加いただいた保護
者、生徒の皆様に、あつくお礼申し上げます。

C) オープンハウス結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・宇多田運 営委員

2. 来賓出席者数 100名前後
3. 経費：\$1580.92(食事関係の出費が殆どであったが、食事ボランティアの
お陰と追加注文で食事は満たされていたと思われる)
4. 参加者が多く、満足された様子がみられた。大きな問題もなく、アンケートでも楽
しめたなど高評価をいただいた。アンケート回収率60%。
5. 展示・文化紹介は盛況であった。駐車場関係もスムーズにいった。(当日のリーダ
ーが事前に担当の役割分担をしてくれてくれた。) Q&Aは良い質問が出ていた。準備
と片付けも時間内で終了出来た。
6. アンケートからの主な意見
 - ・授業参観を同時開催した結果、エスコート者も増え活気があった。
 - ・受付の混雑を避けるため、今後の対応策として状況に応じ受付の開始時間を早め
る。天候を配慮し受付場所の変更も考える。
7. 日本語学校教師の関わり方
 - ・先生と来賓の先生方との交流が難しいため、先生方に昼食を持参してもらったり、
ランチを別に用意し、メディアセンターでの時間を増やしてはどうか。
 - ・教科書等を活用し、日本の教育紹介ブースを設置してはどうか。

- ・プレゼンテーションでの Q&Aに参加してもらってはどうか。
 - ・公開授業の時間を変更し、交流の場を設けてはどうか。
- 8 . スピーチの時間を短くし、Q&Aの時間を増やして欲しい。
- 9 . オープンハウスの担当委員やボランティアは授業参観を見ることができなかったが、来年度は、授業参観の時間帯は業務予定のないことを明確にして、授業参観に全員参加できるよう配慮する。

D) 図書委員会報告 辨木図書担当運営委員

図書館システムネットワーク化について

5月に導入した二台目のコンピューターのバーコードリーダーが故障し、業者を通じ製造元との対応を依頼していた。作動テストをしてもらった段階でCPUが古く、シンピオシスさんから寄付していただけることになり、取り替え作業をしてもらう。

10月30日に貸し出し業務を開始したが、途中で機械が作動せず業務継続が不可能になった。再度11月5日に修理をしていただき、今後の使用上の注意事項につき助言をいただいた。

今後の問題はコンピューターの操作上、正確さが要求されるので、引き続きマニュアルの作成と電話連絡等で状況把握を徹底する。

ブックフェアについて

- ・10月30日案内状を各家庭に配付。
- ・昨年度の反省を基に、保護者、一般の購入時間帯を変更（12時30分から5時）し、子どもたちの購入時間帯を授業時間帯と合わせ45分間とした。
- ・ベークセール、バザーの会場をメディアセンター前の廊下に移動。販売時間等を昼休み時間帯に合わせた。
- ・書籍の値段を25セントに統一、会場設置も簡素化する。

本の読み聞かせ

- ・8名のボランティアで実施、二学期は5回読み聞かせを予定している。

三学期の活動予定

- ・蔵書の整理。
- ・シリーズ物の本の差し替え。
- ・中・高等部による推薦図書掲示板の設置。

E) 30周年記念行事進捗状況 中山担当運営委員

記念誌について－10月30日臨時運営委員会を開催、運営委員に冊子の進捗状況を説明し承認される。多少写真等の入れ替えが生じたが概ね原案通り。

式典について－実施日：12月18日 2学期終業日

時間：14：10～14：50

会場：第一体育館

式の流れ、会場図、準備物、依頼事項等の確認

CDの配付について－児童生徒には既に配付済。卒業生、希望者、転入生にも数がある限り無償で配付し、多くの人が活用し聞いてほしい。

特別講演予定（宇宙飛行士 若田 光一氏）が追加されることになり、当日の講演の様子を是非冊子に組み込みたいと思う。当初冊子配付を12月としていたが、延期し3月配付とする。30周年行事担当委員会も3月末まで延長し事業に関わってもらう。

F) 前期会計報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・大内財務担当運営委員

「30周年記念行事」の収支報告（前期 9月末現在）

収入の部（実績）

企業寄付金	22050.00ドル	
個人寄付金	4040.00ドル	
Tシャツ販売	1835.00ドル	合計 27925.00ドル

支出の部（実績と今後の見込み）

Tシャツ作成	3140.00ドル	
講演会費用	68.00ドル	
看板作成	1007.00ドル	
校旗作成	432.00ドル	
作文コンクール	475.00ドル	
CD作成	2000.00ドル	
記念誌作成	3000.00ドル	
研究会費用	1000.00ドル	合計 1122.00ドル

更に「若田さんの講演会」が支出として見込まれる。残りの残高の取り扱いについては、備品の新規購入や老朽化した備品の更新に使う方向で考える。

中期的な財政改善策

2000年から2004年の生徒数の推移をみて将来の予測を立ててみたが、4月当初のスタートに比べると3月末には毎年10名から30名の児童生徒数が減少している。2005年から2007年のシナリオを20名ペースで減少したと仮定すると会計収支にかなりのマイナスが毎年発生する。

寄付金、授業料値上げを考慮していない数字を計上しているが、今後、授業料の値上げについて時期と金額も含め検討する必要がある。

「94年統合基金」は名称変更し「教場移転費用準備金」として将来に備える。

商工会からの寄付金については、11月20日に「はなみずき会」会合が行われ、寄付、はなみずき会費など将来の展望を話し合われることになっているが、学校の財政についても伝え、継続的なバックアップをお願いする。

G) その他

2005年度Educators to Japan Award の配付につき、商工会から依頼があり10月23日児童生徒に配付。現地校担任に渡してもらう。

新潟県中越震災被害者義捐募集について日本人商工会、日米協会の協賛のうえ、11月1日に要項を保護者宛に配付。義捐金は直接、商工会か日米協会に振り込まれるようになっている。

以上

次回第5回運営委員会 1月22日 土曜日

